

肉声

宮崎勤 30年目の取調室

安永英樹



衝撃スクープ！

日本中を震撼させた「東京・埼玉連続幼女誘拐殺人事件」の取り調べが録音されていた。

初めて明かされる取調室での息詰まる対決！

密室で語られた真実とは——

昭和から平成、一九八八年八月から翌年六月にかけて埼玉・東京で四歳から七歳の幼女四人が次々と誘拐され殺害された東京・埼玉連続幼女誘拐殺人事件。犯人の宮崎勤は「^{いまだゆうこ}今田勇子」と名乗り、殺害した少女の遺骨と意味不明な自筆の紙片を遺族の自宅玄関前に自ら届けた上、犯行声明文、告白文を遺族や新聞社にまで送り付けていた。

事件発生から約30年——。フジテレビ報道局は宮崎の取り調べの音声テープを独自に入手した。

逮捕直後、宮崎は取調室で警視庁捜査一課の名物刑事に何を語っていたのか？

入手した27本の音声テープから、犯罪史上類を見ない“猟奇的な劇場型犯罪”の闇に迫る！

2019年1月25日 文藝春秋刊 定価(本体1600円+税)

安永英樹 (やすなが・ひでき)

1976年生まれ。フジテレビ報道局報道番組部プロデューサー。2001年TBS入社後、報道局社会部で警視庁担当。夕方のニュース番組やバラエティ番組を担当した後、2010年フジテレビに入社。報道局で『FNNスーパーニュース』など夕方のニュース番組担当後、金曜プレミアム『実録！金の事件簿』やドキュメンタリードラマ『衝撃スクープ SP 30年目の真実～東京・埼玉連続幼女誘拐殺人犯 宮崎勤の肉声～』などの番組を制作。